

Intuvia

BUI255

Robert Bosch GmbH
72757 Reutlingen
Germany

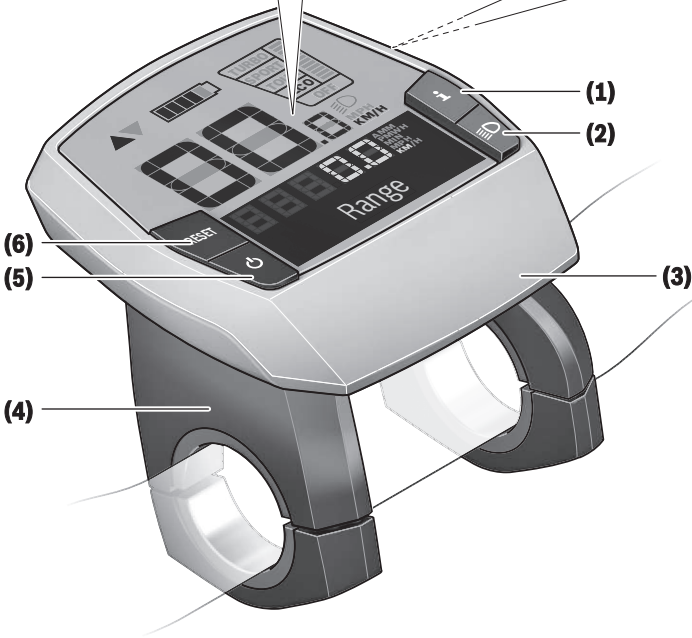
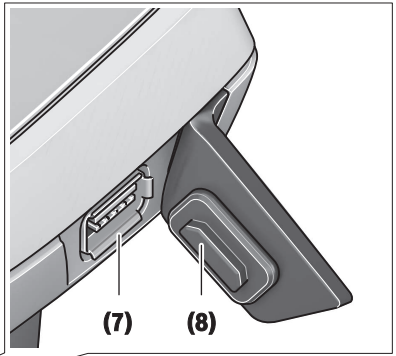
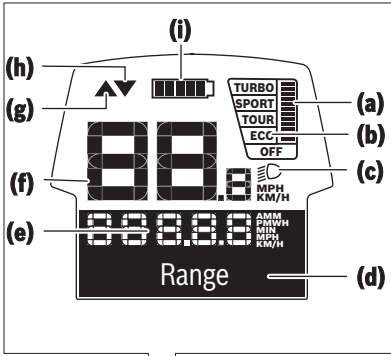
www.bosch-ebike.com

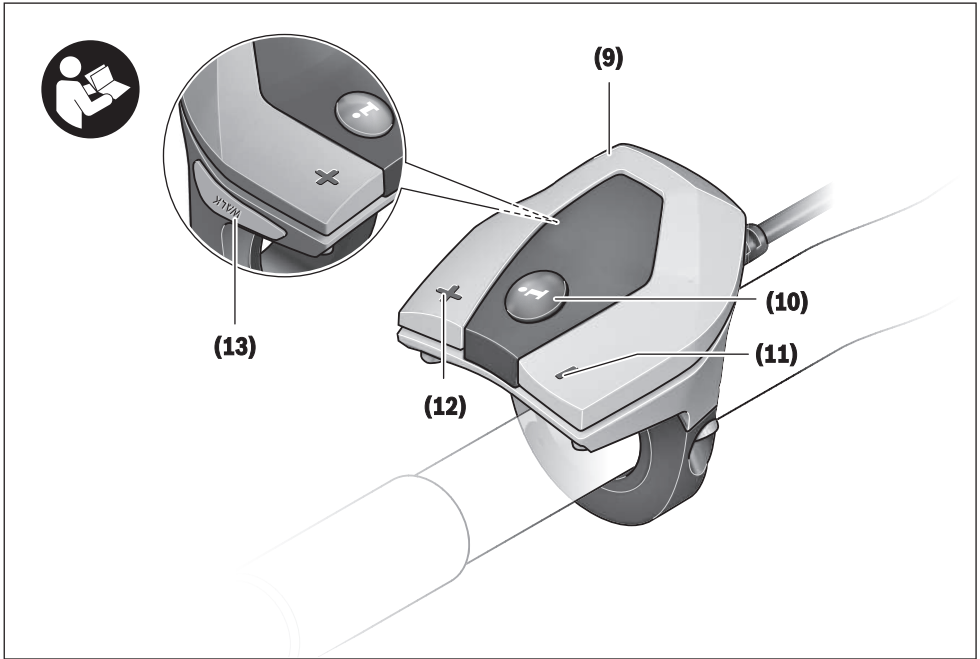
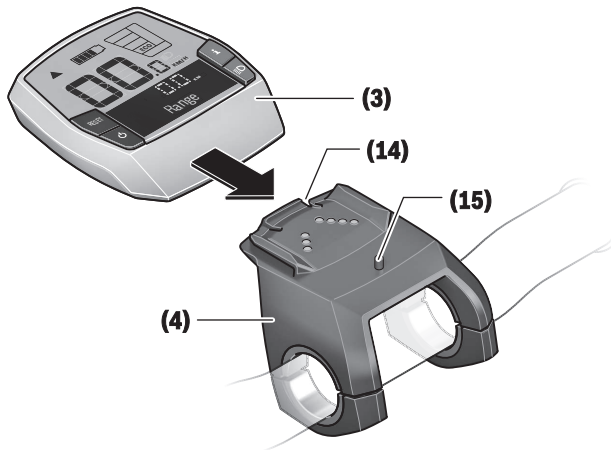
1 270 020 XBI (2023.04) T / 13 JA



ja 取扱説明書






A


安全上の注意事項



安全上の注意事項と指示にすべて目を通してください。安全上の注意事項と指示を守らないと、感電、火災または/および重傷を招くことがありますのでご注意ください。

すべての安全上の注意事項と指示をしっかりと守ってください。

本取扱説明書で使用されている用語「電動アシスト自転車用バッテリー」は、ポッシュ純正の電動アシスト自転車用バッテリーのことを指していません。

- ▶ お使いの電動アシスト自転車の取扱説明書に記載されている安全上の注意事項と指示にすべて目を通し、必ず順守してください。
- ▶ サイクルコンピューターの表示に気を取られて注意散漫にならないようにしてください。交通状況に集中していないと、事故に巻き込まれるおそれがあります。アシストモードの変更以外の設定をサイクルコンピューターに入力したい場合は、一旦停止してからデータを入力してください。
- ▶ サイクルコンピューターをグリップとして利用しないでください。サイクルコンピューターをつかんで電動アシスト自転車を持ち上げると、サイクルコンピューターが激しく損傷し、修理できなくなるおそれがあります。

製品と仕様について

用途

サイクルコンピューターIntuviaは、電動アシスト自転車の操作と走行データを表示するためのものです。

本書に記載された機能のほか、不具合の修正や機能の変更のためにソフトウェアが更新される場合があります。

各部の名称

記載のコンポーネントの番号は、本書冒頭のページにある構成図の番号に対応しています。

ドライブユニット、操作ユニットを含むサイクルコンピューター、スピードセンサーと付属のホルダー以外の部品はすべて略図で示したもので、ご使用になられている電動アシスト自転車のものとは異なる可能性があります。

- (1) 表示機能ボタンi
- (2) 自転車用ライトボタン
- (3) サイクルコンピューター
- (4) サイクルコンピューターのホルダー
- (5) サイクルコンピューターのON/OFFスイッチ
- (6) リセットボタンRESET
- (7) USBソケット

- (8) USBポートの保護キャップ
- (9) リモートコントロールユニット（リモコン）
- (10) リモコンの表示機能ボタンi
- (11) アシストカダウン/スクロールダウンボタン-
- (12) アシストカアップ/スクロールアップボタン+
- (13) 押し歩き補助ボタンWALK^{a)}
- (14) サイクルコンピューターのラッチ
- (15) サイクルコンピューターの止めねじ
USB充電用コード
(マイクロA-マイクロB)^{b)}

a) 法規制により日本では使用できません。

b) 表示されていません。アクセサリとして購入可能です。

サイクルコンピューターの画面表示

- (a) ドライブユニットの出力レベル表示
- (b) アシストモードの表示
- (c) ライト
- (d) テキスト表示
- (e) 数値表示
- (f) スピードメーター
- (g) 推奨シフト：シフトアップ
- (h) 推奨シフト：シフトダウン
- (i) 電動アシスト自転車用バッテリーの充電レベルの表示

テクニカルデータ

サイクルコンピューター	Intuvia	
製品コード		BUI255
USB接続部の最大充電電流	mA	500
USB接続部の充電電圧	V	5
USB充電用コード ^{A)}		1 270 016 360
使用温度範囲	°C	-5 ~ +40
保管温度範囲	°C	+10 ~ +40
充電温度	°C	0 ~ +40
リチウムイオンバッテリー（内部）	V mAh	3.7 230
保護クラス ^{B)}		IP55
重量、約	kg	0.15

A) 標準のセット内容には含まれていません

B) USBカバーを取り付けた状態

ポッシュの電動アシスト自転車にはFreeRTOSが使用されています（www.freertos.orgを参照）。

使い方

電動アシスト自転車用バッテリーの脱着

電動アシスト自転車用バッテリーを電動アシスト自転車に脱着する際は、電動アシスト自転車用バッテリーの取扱説明書をよく読み、指示を順守してください。

サイクルコンピューターの脱着（図Aを参照）

サイクルコンピューター(3)を取り付けるには、サイクルコンピューターを前方からホルダー(4)に押し込みます。

サイクルコンピューター(3)を取り出すには、ラッチ(14)を押し、サイクルコンピューターを前方へホルダー(4)から押し出します。

▶ 電動アシスト自転車を駐輪する際には、サイクルコンピューターを取り外してください。

サイクルコンピューターが外れないように固定することもできます。その場合は、ホルダー(4)をハンドルから取り外してから、サイクルコンピューターをホルダーに取り付けます。止めねじ(15) (M3ネジ、長さ8mm)を、ホルダーの下部に設けられている専用のネジ山に取り付けてから、ホルダーを再びハンドルに取り付けてください。

注意：止めねじは盗難防止用ものではありません。

操作

前提条件

電動アシスト自転車をオンにするためには、下記の要件が満たされている必要があります。

- 十分に充電された電動アシスト自転車用バッテリーが挿入されている（電動アシスト自転車用バッテリーの取扱説明書を参照）。
- サイクルコンピューターがホルダーに正しく取り付けられている（参照 „サイクルコンピューターの脱着（図Aを参照）“、ページ日本語 - 2）。
- スピードセンサーが正しく接続されている（ドライブユニットの取扱説明書を参照）。

電動アシスト自転車のオン/オフ

電動アシスト自転車をオンにするには、以下の方法があります：

- サイクルコンピューターがオンの状態で、ホルダーに装着すると、電動アシスト自転車は自動的にオンになります。
- サイクルコンピューターとバッテリーを電動アシスト自転車に装着した状態で、サイクルコンピューターのON/OFFスイッチを1回短く押しします。

- サイクルコンピューターを装着した状態で、電動アシスト自転車用バッテリーのON/OFFスイッチを押します（自動車メーカー固有の搭載方法では、電動アシスト自転車用バッテリーのON/OFFスイッチを操作できない場合があります。詳しくは電動アシスト自転車用バッテリーの取扱説明書を参照してください）。

ペダルを踏むと、すぐにモーターが作動します（押し歩き補助またはアシストモードがOFFの場合以外）。駆動出力は、設定したアシストモードによって異なります。

通常モードでペダルをこぐのを止めるか、または速度が24km/hに達すると、すぐにモーターによるアシストが止まります。改めてペダルを踏んだり、速度が24km/hを下回ると、モーターは再び自動的に作動します。

電動アシスト自転車をオフにするには、以下の方法があります：

- サイクルコンピューターのON/OFFスイッチを押します。
- 電動アシスト自転車用バッテリーをON/OFFスイッチでオフにします（自転車メーカーのソリューションによっては電動アシスト自転車用バッテリーのON/OFFスイッチにアクセスできない場合があります。電動アシスト自転車用バッテリーの取扱説明書を参照してください）。
- ホルダーからサイクルコンピューターを取り外します。

約10分間モーターから出力されなかったり（電動アシスト自転車が停止している場合など）、電動アシスト自転車のサイクルコンピューターやリモコンのボタンが押されなかったりした場合には、電動アシスト自転車は自動的にオフに切り替わります。

サイクルコンピューターの電源

サイクルコンピューターがホルダー(4)に挿入され、十分に充電した電動アシスト自転車用バッテリーが電動アシスト自転車に取り付けられており、スイッチがオンになっていると、電動アシスト自転車用バッテリーからサイクルコンピューターに電気が供給されます。

サイクルコンピューターをホルダー(4)から取り外すと、サイクルコンピューター内部のバッテリーから電気が供給されます。サイクルコンピューターをオンにした時にサイクルコンピューター内部のバッテリーが弱くなっていると、テキスト表示(d)に3秒間<バイクに装着>と表示されます。その後、サイクルコンピューターが再びオフになります。

サイクルコンピューター内部のバッテリーを充電する場合は、（電動アシスト自転車用バッテリーが電動アシスト自転車に取り付けられた状態で）サイクルコンピューターを再度ホルダー(4)にセットします。電動アシスト自転車用バッテリーをON/OFFスイッチでオンにします（電動アシスト自転車用バッテリーの取扱説明書を参照）。

USBソケットからサイクルコンピューターに充電することもできます。その際には保護キャップ**(8)**を開いてください。サイクルコンピューターのUSBソケット**(7)**を適合するUSBケーブルで市販のUSB充電器と接続するか、またはコンピューターのUSBソケットと接続します(充電電圧5V、充電電流最大500 mA)。すると、サイクルコンピューターのテキスト表示**(d)**に**<USB 接続中>**と表示されます。

サイクルコンピューターのオン/オフ

サイクルコンピューターを**オン**にするには、ON/OFFスイッチ**(5)**を短く押します。サイクルコンピューターは、ホルダーに挿入されていなくても(サイクルコンピューター内部のバッテリーが十分に充電されていれば)オンになります。

サイクルコンピューターを**オフ**にするには、ON/OFFスイッチ**(5)**を押します。


サイクルコンピューターをホルダーに挿入していない場合、節電のために、ボタンを押さなくても1分後に自動的にオフになります。


▶ **電動アシスト自転車を数週間使用しない場合は、サイクルコンピューターをホルダーから取り外してください。**サイクルコンピューターは湿気の少ない場所で室温で保管してください。また、サイクルコンピューター内部のバッテリーは定期的に充電してください(遅くとも3カ月毎)。


電動アシスト自転車用バッテリーの残量表示

電動アシスト自転車用バッテリーの残量表示**(i)**は電動アシスト自転車用バッテリーの充電レベルを表示するもので、サイクルコンピューター内部のバッテリーの充電レベルを示すものではありません。電動アシスト自転車用バッテリーの残量は、電動アシスト自転車用バッテリー本体のLEDでも読み取ることができます。

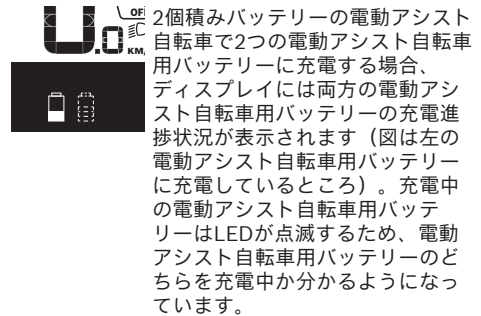
インジケーター**(i)**に表示されるバッテリーアイコンの個々のバーは約20%の容量に相当します。

 電動アシスト自転車用バッテリーは満充電されています。

 電動アシスト自転車用バッテリーを充電する必要があります。

 電動アシスト自転車用バッテリーの残量表示LEDが消灯します。アシストするためのバッテリー容量がなくなり、アシスト力はゆっくり低下していきます。残りのバッテリー容量はライトとサイクルコンピューターのために使用され、LEDが点滅します。電動アシスト自転車用バッテリーの残りの容量で、自転車ライトをさらに約2時間点灯させることができます。この場合、その他の負荷(電動シフト、USBソケットでの外部装置の充電など)は考慮していません。

サイクルコンピューターをホルダー**(4)**から取り外すと、最後に表示された電動アシスト自転車用バッテリーの充電レベルが保存されます。2個積みバッテリーの電動アシスト自転車の場合、残量表示**(i)**には両方の電動アシスト自転車用バッテリーの充電レベルが表示されます。



アシストモードの設定

リモコン**(9)**で、ペダリング中にモーターでどの程度アシストするかを設定することができます。アシストモードは、走行中でもいつでも変更することができます。

注意事項:アシストモードがプリセットされ、変更できない仕様もあります。また、ここに列挙されているレベルより低いアシストモードが選択できる場合もあります。

以下のアシストモードをご利用いただけます。

- **OFF:** 駆動アシストは停止し、電動アシスト自転車を通常の自転車と同じようにペダルをこいで操作します。このアシストモードでは、押し歩きアシストをオンにすることはできません。
 - **ECO:** 最高の効率でサポートします(走行距離をできるだけ伸ばしたい人向け)。
 - **TOUR/TOUR+:**
TOUR: 安定したパワーでアシストします(長距離走行向け)。
TOUR+: 自然でスポーティな走りをダイナミックにサポートしますeMTBと接続した場合のみ)。
 - **SPORT/eMTB:**
SPORT: パワフルにサポートします(起伏のあるコースをスポーティに走る場合や市街地走行向け)。
eMTB: 地形に合わせて最適にサポートします(スポーティな発進、ダイナミクスの向上、最大限のパフォーマンスを実現。eMTBはドライブユニットBDU250P CX、BDU365、BDU450 CX、BDU480 CXとの組み合わせでのみ使用可能。状況に応じてソフトウェアのアップデートが必要)。
 - **TURBO:** ペダリング頻度が高くなるまで最大限にサポートします(スポーティな走行向け)。
- アシストモードを**上げる**には、リモコンの**+ボタン(12)**を押し、インジケーター**(b)**の表示を希望のA

シストモードにします。アシストモードを**下げる**場合は**-ボタン(11)**を押します。

駆動出力はインジケータに表示されます**(a)**。最大駆動出力は選択したアシストモードによって異なります。

サイクルコンピューターをホルダー**(4)**から取り外すと、最後に表示されたアシストモードが保存され、駆動出力のインジケータ**(a)**には何も表示されなくなります。

ドライブユニットと変速機の相互作用

電動アシスト自転車を使用する場合も、通常の自転車と同様に変速機を使用してください（電動アシスト自転車本体の取扱説明書をご確認ください）。

変速機のタイプに関係なく、ギアを変える瞬間はペダルをこぐ力をいったん弱めることをお勧めします。これにより、ギヤチェンジしやすくなり、ドライブユニットの損耗も抑えられます。

適切なギヤを選択すれば、同じ力のかけ方で速度を上げ、航続距離を伸ばすことができます。

そのため、ディスプレイのインジケータの**(g)**と**(h)**の推奨シフトに従って走行してください。インジケータに**(g)**と表示されたら、シフトアップしてください。また、インジケータに**(h)**と表示されたら、シフトダウンしてください。

自転車ライトのオン/オフ

電動アシスト自転車によって給電される仕様では、サイクルコンピューターの自転車用ライトボタン**(2)**によってヘッドライトとテールライトを同時に点灯/消灯することができます。

走行する前に、ライトが正常に機能しているかを毎回確認してください。

ライトがオンの場合は**<ライト点灯>**、ライトがオフの場合は**<ライト消灯>**とテキスト表示**(d)**に約1秒間表示されます。ライトが点灯していると、ライトアイコン**(c)**が表示されます。

サイクルコンピューターはライトのステータスを保存し、次のスタート後に、必要に応じてこのステータスに従ってライトを作動させます。

自転車ライトのオン/オフは、ディスプレイのバックライトに影響を与えることはありません。

USBソケットからの外部装置への電源供給

USBソケットを使用し、USBから電源供給可能な装置（携帯電話など）を作動させたり、充電したりすることができます。

充電するための前提条件となるのは、サイクルコンピューターと十分充電した電動アシスト自転車用バッテリーが電動アシスト自転車に取り付けられていることです。

サイクルコンピューターのUSBソケットの保護キャップ**(8)**を外してから、USB充電用コード（マイクロA-マイクロB）（ポッシュの電動アシスト自転車の販売店で入手可能）を外部装置のUSBソ

ケットとサイクルコンピューターのUSBソケット**(7)**に接続します。

電気機器を取り外したら、USBソケットを保護キャップ**(8)**で慎重に覆ってください。

▶ **USBソケットは耐水性のコネクターではありません**。雨の中を走行する場合は外部装置を接続せず、必ず**USBソケットを保護キャップ (8) で完全に覆ってください**。

注意：電気機器を接続していると、電動アシスト自転車の航続距離が短くなることがあります。

サイクルコンピューターの表示と設定

速度表示と距離表示

スピードメーター (f)には、現在の速度が表示されます。

機能表示（テキスト表示**(d)**と数値表示**(e)**の組み合わせ）には、以下の機能を選択して表示させることができます。

- **<時計>**：現在の時刻
- **<最高速度>**：前回のリセット以降に達成した最高速度
- **<平均速度>**：前回のリセット以降に達成した平均速度
- **<走行時間>**：前回のリセット以降の走行時間
- **<航続距離>**：残りのバッテリー充電量での予想航続距離（アシストモード、ルート条件などが同じ場合）
- **<オドメーター>**：電動アシスト自転車これまで走行した総距離の表示（リセット不可）
- **<走行距離>**：前回のリセット以降に走行した距離

表示機能を切り替えるには、サイクルコンピューターのiボタン**(1)**またはリモコンのiボタン**(10)**を押して、希望する機能を表示します。

<走行距離>、**<走行時間>**、**<平均速度>**をリセットするには、これらの3つの機能のいずれかに切り替え、表示がゼロになるまで**RESET**ボタン**(6)**を押します。これにより、他の2つの機能の値もリセットされます。

<最高速度>をリセットするには、この機能に切り替えてから、表示がゼロになるまで**RESET**ボタン**(6)**を押します。

<航続距離>をリセットするには、この機能に切り替えてから、表示が工場設定値にリセットされるまで**RESET**ボタン**(6)**を押します。

サイクルコンピューターをホルダー**(4)**から取り外しても、機能の全数値は保存されているため、引き続き表示させることができます。

基本設定の表示/変更

サイクルコンピューターをホルダー**(4)**に取り付けた状態、または取り付けしていない状態のどちらでも、基本設定の表示および変更が可能です。ただし、サイクルコンピューターが取り付けられてい

る場合にのみ表示・変更を行うことができる設定もあります。また、電動アシスト自転車の装備内容によっては、いくつかのメニュー項目が表示されない場合もあります。

基本設定メニューを表示するには、**RESET**ボタン(6)と**i**ボタン(1)を同時に押して、テキスト表示(d)に<設定>を表示します。

基本設定を切り替えるには、サイクルコンピューターの**i**ボタン(1)を押して、希望する基本設定を表示します。サイクルコンピューターをホルダー(4)に取り付けている場合は、リモコンの**i**ボタン(10)で切り替えることもできます。

基本設定を変更するには、-表示の横にあるON/OFFスイッチ(5)を押して数値を下げるか、または下へスクロールし、+表示の横にあるライトボタン(2)を押して数値を上げるか、または上へスクロールします。サイクルコンピューターをホルダー(4)に取り付けている場合は、リモコンの-ボタン(11)または+ボタン(12)で変更することもできます。

機能を終了し、変更した設定を保存するには、**RESET**ボタン(6)を3秒間押します。

以下の基本設定を選択することができます。

- <- 時計 +>: 現在時刻を設定します。ボタンを長押しすると、数字が早く変化します。
- <- ホイール外周 +>: メーカー設定値を±5%の範囲で変更することができます。このメニュー項目は、サイクルコンピューターがホルダーに挿入されている場合にのみ表示されます。
- <- 日本語 +>: テキスト表示の言語を変更します。選択できる言語は、ドイツ語、英語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ポルトガル語、スウェーデン語、オランダ語、デンマーク語です。
- <- 単位 ㎞/ℓ +>: 速度と距離の単位をキロメートルまたはマイルで表示します。
- <- 時間形式 +>: 時刻を12時制または24時制で表示します。
- <- 推奨シフト入 +>/<- 推奨シフト切 +>: 推奨シフトの表示をオン/オフします。
- <電源オン時間>: 電動アシスト自転車での合計走行時間を表示します(変更不可)。
- <Displ. vx.x.x.x>: ディスプレイのソフトウェアバージョン。
- <DU vx.x.x.x>: ドライブユニットのソフトウェアバージョン。このメニュー項目は、サイクルコンピューターがホルダーに挿入されている場合にのみ表示されます。
- <DU SN xxxxxxxx/xxx>: ドライブユニットのシリアル番号。このメニュー項目は、サイクルコンピューターがホルダーに挿入されている場合にのみ表示されます。

- <DU PN xxxxxxxxxx>: ドライブユニットの部品番号。このメニュー項目は、サイクルコンピューターがホルダーに挿入されており、ドライブユニットの部品番号が分かる場合にのみ表示されます。
- <サビス MM/YYYY>: このメニュー項目は、自転車メーカーが特定のサービスインターバルを定めている場合にのみ表示されます。
- <サビス xx ㎞/ℓ>: このメニュー項目は、自転車メーカーが特定の走行距離に応じてサービスインターバルを定めている場合にのみ表示されます。
- <Bat. vx.x.x.x>: 電動アシスト自転車用バッテリーのソフトウェアバージョン。このメニュー項目は、サイクルコンピューターがホルダーに挿入されている場合にのみ表示されます。2個の電動アシスト自転車用バッテリーを使用する場合、両方の電動アシスト自転車用バッテリーのソフトウェアバージョンが順番に表示されます。
- <Bat. PN xxxxxxxxxx>: 電動アシスト自転車用バッテリーの部品番号。このメニュー項目は、サイクルコンピューターがホルダーに挿入されており、電動アシスト自転車用バッテリーの部品番号が分かる場合にのみ表示されます。2個の電動アシスト自転車用バッテリーを使用する場合、両方の電動アシスト自転車用バッテリーのソフトウェアバージョンが順番に表示されます。
- <Cha. vx.x.x.x>: 充電器のソフトウェアバージョン。充電器がソフトウェアバージョンを提供している場合にのみ表示されます。
- 電動アシスト自転車にABSが装備されている場合は、ABSのソフトウェアバージョン、シリアル番号と型式番号も表示されます。

エラーコードの表示

電動アシスト自転車のコンポーネントは常に自動的に点検されます。エラーが確認されると、該当するエラーコードがテキスト表示(d)に表示されません。

サイクルコンピューター(3)またはリモコン(9)の任意のボタンを押すと、標準画面に戻ります。

エラーの種類に応じて、システムが自動的にオフになることがあります。アシストなしでいつでも走行を続けることができます。その場合は、できるだけ電動アシスト自転車を点検してから、走行を続けてください。

▶ 修理は、必ず正規販売店に依頼してください。

コード	原因	対処
410	車載コンピューターの1つあるいは複数のボタンがアクティブにならない。	汚れなどが入り込んでボタンが固着していないか点検してください。必要に応じてボタンを清掃してください。
414	リモコンの接続障害	接続の点検を依頼してください。

コード	原因	対処
418	リモコンの1つ以上のボタンが動かない。	汚れなどが入り込んでボタンが固着していないか点検してください。必要に応じてボタンを清掃してください。
419	設定エラー	システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
422	モーターユニットの接続不良	接続の点検を依頼してください。
423	電動アシスト自転車のバッテリーの接続不良	接続の点検を依頼してください。
424	コンポーネント間の通信エラー	接続の点検を依頼してください。
426	タイムアウトの内部エラー	システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。このエラーステータスでは基本設定メニューでホイールサイズを表示/調整することができません。
430	サイクルコンピューター内部のバッテリーが空になっている (BUI350では異なる)	サイクルコンピューターを充電してください (ホルダー内、またはUSB接続)。
431	ソフトウェアバージョンのエラー	システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
440	モーターユニットの内部エラー	システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
450	ソフトウェアの内部エラー	システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
460	USB接続の不具合	サイクルコンピューターのUSBポートからケーブルを抜いてください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
490	サイクルコンピューターの内部エラー	サイクルコンピューターの点検を依頼してください。
500	モーターユニットの内部エラー	システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
502	自転車用ライトの不具合	ライト本体と付属するケーブルを点検してください。システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
503	速度センサーの不具合	システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
504	速度信号の改造が検出された。	スポークマグネットの位置を点検し、必要に応じて調整してください。改造 (チューニング) が行われたかどうか確認してください。モーターのアシスト力が低下します。
510	センサーの内部エラー	システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
511	モーターユニットの内部エラー	システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。

コード	原因	対処
530	バッテリーの不具合	電動アシスト自転車をオフにし、バッテリーをいったん取り外してから再び装着してください。システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
531	設定エラー	システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
540	温度エラー	電動アシスト自転車の温度が許容範囲を超えています。電動アシスト自転車をオフにし、モーターユニットの温度を許容範囲まで下げるか、または上げてください。システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
550	許容できない負荷が検知された。	負荷を取り除いてください。システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
580	ソフトウェアバージョンのエラー	システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
591	認証エラー	電動アシスト自転車をオフにし、いったんバッテリーを取り外してから再び装着してください。システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
592	コンポーネントが適合していない	適合しているディスプレイを取り付けてください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
593	設定エラー	システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
595、596	通信エラー	変速機の配線を点検し、システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
602	バッテリーの内部エラー	システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
603	バッテリーの内部エラー	システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
605	バッテリーの温度エラー	バッテリーが許容温度範囲の外にあります。電動アシスト自転車をオフにし、バッテリーを許容温度範囲まで冷やすか、または温めてください。システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
606	バッテリーの外部エラー	配線を点検してください。システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
610	バッテリーの電圧エラー	システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
620	充電器の不具合	充電器を交換してください。ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。

コード	原因	対処
640	バッテリーの内部エラー	システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
655	バッテリーの多重エラー	電動アシスト自転車をオフにし、いったんバッテリーを取り外してから再び装着してください。システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
656	ソフトウェアバージョンのエラー	ポッシュの電動アシスト自転車の販売店に連絡し、ソフトウェアのアップデートを依頼してください。
7xx	サードパーティ製コンポーネントでの不具合	各コンポーネントメーカーの取扱説明書に記載された説明を参照してください。
800	ABSの内部エラー	ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
810	ホイールスピードセンサーの信号異常	ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
820	前輪スピードセンサーへの配線異常	ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
821 ... 826	前輪スピードセンサーの信号異常 センサーディスクがないか、故障している、または誤った状態で取り付けられている；前輪と後輪のタイヤ径が明らかに異なっている；極端な走行状況（後輪で走行するなど）	システムを再起動し、試運転を2分以上続けて行ってください。すると、ABSコントロールライトが消灯します。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
830	後輪スピードセンサーへの配線異常	ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
831 833 ... 835	後輪スピードセンサーの信号異常 センサーディスクがないか、故障している、または誤った状態で取り付けられている；前輪と後輪のタイヤ径が明らかに異なっている；極端な走行状況（後輪で走行するなど）	システムを再起動し、試運転を2分以上続けて行ってください。すると、ABSコントロールライトが消灯します。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
840	ABSの内部エラー	ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
850	ABSの内部エラー	ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
860、861	電源の不具合	システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
870、871 880 883 ... 885	通信エラー	システムを再起動してください。それでも問題が解決しない場合は、ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
889	ABSの内部エラー	ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
890	ABSコントロールライトが故障しているか、またはライトがない；ABSが機能していない可能性がある。	ポッシュ電動アシスト自転車の販売店にお問い合わせください。
何も表示されない	車載コンピューターの内部エラー	電動アシスト自転車をオフにし、再びオンにしてからシステムを再起動してください。

お手入れと保管

保守と清掃

ドライブユニットを含むすべてのコンポーネントを水に浸けたり、高圧で洗浄しないでください。サイクルコンピューターの清掃には、水で湿らせた柔らかい布だけを使用してください。その際、洗剤は使用しないでください。

年1回以上の周期で電動アシスト自転車の点検を依頼してください（メカニズム、ソフトウェアの適時性など）。

また、走行距離および/または時間に基づいてサービスインターバルを設定している自転車メーカーや自転車取扱店もあります。この場合、サイクルコンピューターをオンにする度にサービス期日が4秒間表示されます。

サービスと修理に関しては自転車の販売店にお問い合わせください。

▶ **修理は、必ず正規販売店に依頼してください。**

カスタマーサービス & 使い方のご相談

電動アシスト自転車とそのコンポーネントに関するご質問については自転車の販売店にお問い合わせください。

自転車の販売店の連絡先は、WEBサイトの www.bosch-ebike.com で確認することができます。

運搬

▶ **電動アシスト自転車を自動車で運ぶ際、車内に積まず、車外のラゲージキャリアに載せて運ぶ場合は、損傷を防ぐために、ボードコンピューターとバッテリーを電動アシスト自転車から取り外しておいてください。**

廃棄と本機に含まれる物質

本機に含まれる物質に関する情報については、リンク

www.bosch-ebike.com/en/material-compliance をご参照ください。

電動アシスト自転車とそのコンポーネントを一般の家庭用ごみとして廃棄しないでください。



ドライブユニット、サイクルコンピューター（操作ユニットを含む）、電動アシスト自転車用バッテリー、スピードセンサー、アクセサリーと梱包材は、環境に適した方法でリサイクルしてください。

個人データがシステムから消去されていることをご自身で確認してください。

破損することなく電子機器から取り外すことができるバッテリーは、廃棄する前に必ず取り外し、バッテリーの分別回収を行う必要があります。

電子製品の分別回収は、種類毎の事前分別、原材料の適切な処理と回収を支え、人と環境の保護につながります。

使用できなくなったポッシュ電動アシスト自転車のコンポーネントは自転車の販売店にお持ちください。



予告なく変更する場合があります。